



## ロシア連邦には、なぜ11もの標準時があるの

### 国土が東西に長いから

ロシア連邦は、ヨーロッパからアジアまで東西に長い国土をもっています。西は、ヨーロッパ北部の国フィンランドと国境を接し、東はシベリアのはしでアメリカ合衆国のアラスカに面しています。国土の面積は、日本のおよそ46倍にもなっています。

ロシア連邦の西と東の経度差は、170度にも達しています。地球上では経度差が15度あれば時間が1時間ずれます。ロシア連邦のように170度も経度差があると、11時間以上も時間差ができてしまいます。ということは、西のはしでお昼の12時のとき、東のはしでは夜の11時ごろになっているわけです。ロシア連邦では、半日も時間がずれているわけです。ですから、ロシア連邦では、11の標準時がもうけられているわけです。

### 国内を旅行するとき、時計を進めたりおくらせたりする

ロシア連邦を旅行するときには、時計を現地時間に合わせて、進めたりおくらせたりします。ちゃんと現地時間に合わせておかないと、飛行機やバスに乗りおくれたりしてしまうからです。

同じように、アメリカ合衆国も東から西まで7時間のずれがあります。そのうち、本土の西海岸のカリフォルニアから東海岸のニューヨークまでは、4つの時間帯があります。ですから、遠くはなれたところに住む友だちに電話するときには、今、相手が何時なのかを考える必要があります。（監修・保岡孝之）

